

藤樹人間学塾 百回記念

「中江藤樹心のセミナー」

塾長 田中 清行

令和元年十二月七日午後、新旭公民館で藤樹人間学塾百回記念、「中江藤樹・心のセミナー」を開催しました。高島市内外から五十余名が参加していただきました。

開会の挨拶で三田村副会長が高島藤樹会は知識を得るだけでなく実践を大切にしていると表明しました。

最初の講演は「孔子の郷、曲阜と藤樹の里、高島」と題して私が話しました。孔子は中国の動乱期を生き抜いて思索し行動した。孔子は理想の社



会を実現するためには「礼」と「仁」が大切だと説きました。身分制度を認めたくえでの人道主義です。孔子の死後、儒教は国教として歴代の王朝が踏襲して来ました。孔子の根本思想は、「修身・齐家・治国・平天下」で自らの徳によって政治を行おうとするものです。

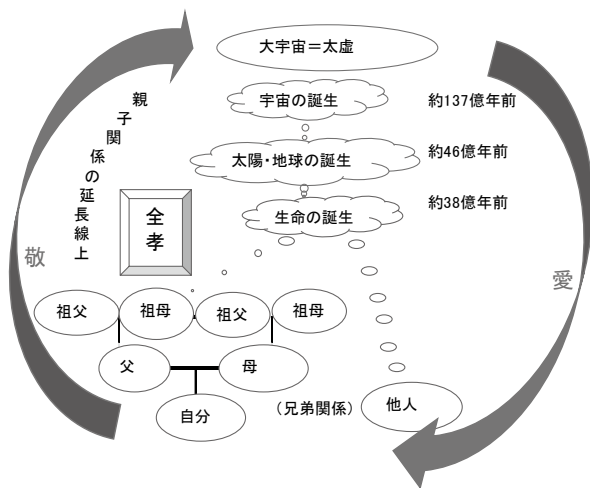
私は昨年孔子の郷、曲阜を訪問して来ましたので年間五百万人もの観光客を集める孔子廟等の遺跡群を写真で紹介しました。そして曲阜の人々が街を挙げて孔子を讃え、来訪者を歓迎している姿が膨大な人を集める原動力となっていると述べました。

次に藤樹の生涯を説明し藤樹も徳を最重要視している話をしました。藤樹の里、高島では、藤樹書院などの遺跡があり、そこで地元の人々が毎年儒式の祭典を行って先生の遺徳を大切にされていることは素晴らしいことです。高島藤樹会は、藤樹紙芝居を作って子供に教え、会報を作って会員サービスを行うなどの活動をしています。

さらに藤樹人間学塾では、先生の著書を読んで藤樹思想を学び、それを私たちの生活に生かす方法を考え実践するようにしています。藤樹の「孝」の思想は親孝行の「小孝」だけでなく、「全孝」といって大宇宙(天・太虚・神仏)と私たちは親子

関係の延長線上でつながっている。だから天を敬い、隣人を愛せば天が慈しんでくれるというような温かい教えです。

これを図で説明し、当会はこの素晴らしい思想を全国に広めようというビジョンを持っています。ただし理想を実現するためには、まず自分の行動を正していくことが大切です、皆さん一緒に始めましょうと述べました。



メイン講演は実践人の家理事長であるわが師、廣瀬童心先生です。先生は「現代に生きる藤樹学、森全一学」と題して全一学は孝につながる」と話されました。太虚に包まれて私たちがあ、良知がある、仏性がある



る、霊性がある。藤樹先生は、人は誰でもよい心を持っている、人はその心を磨き人間らしく、楽しく生きるためには、日々の生活の中で五事(貌・言・視・聴・思)を正すことが大切と言われている。個人がバラバラではいけない。人間同士はつながっていないなければならないと納豆を使って教えていただきました。

生活の中で立腰することは自分の心身の中心軸を立てることだと実践指導もいただきました。

藤樹学・森全一学はいのちの根源(大宇宙)に生かされていることを自覚し、大宇宙への感謝の思想である。だから隣人を愛すべきだと、小道具を使ってユーモアあふれるお話をして会場を沸かせていただきました